

IB 教員を目指す大学生・大学院生、探究的・主体的な学びの指導法を学びたい  
中学校・高等学校の教員向け授業研究会事業・公募要領

(公文国際奨学財団 国際教育関係団体助成)

日本国際バカロレア教育学会

## 1、趣旨

現在、日本には国際バカロレア（IB）教員を養成する大学が7校、存在する。しかし、IB 関心校、候補校、認定校はまだ150校程度に留まり、どの大学でも十分な教育実習先を確保するに至っていない。そもそも、IB 教員資格の取得に際しては、一定の教育経験が求められるものの、IB 校等における実践的な経験を積むことは容易ではない。このような状況に対して、現在のIB 教員養成課程に所属する学生や教員は実践力不足を痛切に感じている。

また、教育改革が進む中で、教員の在り方も変化しようとしている。高等学校では「総合的な探究の時間」という科目が加わるなど、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成が目指されている。しかし、それらを学ぶ場は限られており、どのように指導するか悩んでいる教員も多い。

このような状況に鑑みて、IB 教員資格取得を志す学生や、探究的・主体的な学びの指導方法を学びたい教員が、IB 教育や探究的・主体的な学びの実践や授業研究会を実施する機会を本学会が設けることとし、このことについて公文国際奨学財団より助成を受けた。

については、学会会員から授業研究会のテーマを募集し、理事会で承認された申請に対して、講師謝金、物品購入等の費用の補助を行う。

## 2、事業の概要

### （1）対象

日本国際バカロレア教育学会に所属する学会会員

※団体会員や会員が所属する機関を含む。

### （2）内容

IB 教員資格取得を志す学生や、探究的・主体的な学びの指導方法を学びたい教員から、現在抱えている課題を解決するための実践の場や授業研究会の提案を公募する。申請内容を理事により構成される審査委員会で検討し、承認された申請に対して費用を補助する。募集する提案は、知の理論（TOK）の指導方法を学ぶための授業研究会や探究的・主体的な学びの授業研究会、短期的な教育実習などを想定している。費用については、研究会に講師を招聘するための費用や会場費、テキストなどの物品購入費などに対して実費分を補助する。なお、使い切らなかった費用は返金することとする。

### （3）補助要件

以下の全ての項目を満たすことを補助要件とする。

a) IB、または探究的・主体的な学びを学ぶための実践の場、または授業研究会の提案であること。

b) 2021年1月15日までにすべての計画を終了し、実施報告書を提出できること。

※実施報告書は別紙参照。

### （4）期間

交付決定日～2021年1月15日まで

### 3、審査方法

#### (1) 審査方法

日本国際バカロレア教育学会の理事により構成される審査委員会において、すべての申請について書面審査を行う。審査過程における意見を踏まえ、必要に応じて計画の見直しや追加資料の提出等を求めることがある。追加でヒアリングが必要と判断された申請については、ヒアリングを実施する。

#### (2) 審査結果の通知

審査終了後、すべての申請に対して、申請者宛に採択又は不採択の結果を通知する。

### 4、承認件数、補助額

事業費用は総額で 50 万円である。補助件数は 5 件程度とする。1 つの申請につき最大で 20 万円まで補助する。

### 5、申請書の提出方法

別紙の申請書に必要な事項を記入の上、下記アドレス宛に送信すること。

申請先：jaribe.ut.secretariat@gmail.com

### 6、スケジュール

2020年7月2日（木）～8月4日（火） 申請期間

2020年8月5日（水）～8月18日（火） 審査期間

2020年8月19日（水）～8月26日（水） 審査結果の通知

～2021年1月15日（金） 実施報告書の提出

以上